

令和2年度

保育士自己評価

《職員に対して》

A…できている B…大体できている C…まだ努力が必要

| | | A | B | C | 無 |
|----|-------------------------------------|----|----|---|---|
| 1 | 明るい笑顔で挨拶をしていますか | 15 | 5 | 1 | 0 |
| 2 | お互いに良さを認め合い高め合える努力をしていますか | 9 | 11 | 1 | 0 |
| 3 | 同僚や上司、園の批判を軽はずみにしていませんか | 15 | 6 | 0 | 0 |
| 4 | クラスの様子や出来事を報告していますか | 9 | 8 | 2 | 2 |
| 5 | 自分で判断できないことは、園長・主任に相談していますか | 16 | 4 | 1 | 0 |
| 6 | 自分の意見がある場合は、職員会議などで述べていますか | 5 | 9 | 5 | 2 |
| 7 | 自分の考え、やり方が違っていても、会議で決まったことには従っていますか | 16 | 4 | 0 | 1 |
| 8 | お互いの不得意な所を補い合っていますか | 8 | 11 | 1 | 1 |
| 9 | 保育について、良い所、悪い所が指摘し合える関係を作っていますか | 1 | 10 | 8 | 2 |
| 10 | 自分の分担以外のことも関係ないと思わずに、協力しあえますか | 9 | 12 | 0 | 0 |
| 11 | 社会人としての常識を持ち、専門職として責任ある行動をとっていますか | 8 | 12 | 0 | 1 |

【評価】

- ・ クラス内では職員同士で話し合い、より良い保育をする為に、どのようにすれば良いか考えている。
- ・ 職員会議で自分の意見が述べられない。自分の意見を言えるようにしたい。
- ・ 年上の先生には言いたいことがなかなか言えない部分がある。自分の思う様に動いてしまう。
- ・ なかなか職員全員とコミュニケーションをとる時間が持てないが、関わる機会がある時は会話などを大切にしている。
- ・ 同じ職員にきつい口調で言われることが多いと、自信を失くしてしまう。自主的な保育が出来ない。子ども達と楽しい保育をする為には、保育士も楽しんで職務につける環境が必要。
- ・ 自分だけが理解していても、周りの人との連携がとれていなければ、良い仕事に繋がらないため、話し合いは重要だと思う。
- ・ 「人の振り見て我が振り直せ」の精神で行動するように心がけている。
- ・ まだ保育園での生活に慣れていないので、分からないことも多く、行動出来ないことがある。
- ・ 先輩は自分の保育を見守ってくれている。後輩にもある程度は自由にさせて、大事なことは教えていきたい。
- ・ 挨拶をしても、元気な声が返ってこないと体調が悪いのかと気になる。

《心の健康管理》

*当てはまるものに○を付けて下さい

| | | |
|---|--------------------|---|
| 1 | 最近、意欲ややる気がわからない | 2 |
| 2 | イライラして怒りっぽくなることが多い | 3 |
| 3 | 集中力がなくなりミスが増えている | 4 |
| 4 | 人と話すのがおっくうである | 1 |
| 5 | 保護者と話すのが怖い | 0 |
| 6 | 園児を可愛いと思えない | 0 |
| 7 | 職場の付き合いが面倒だ | 2 |
| 8 | 朝、出勤するのが気重である | 4 |

《保護者に対して》

A…できている B…大体できている C…まだ努力が必要

| | | A | B | C | 無 |
|---|---------------------------------|----|----|---|---|
| 1 | 明るい笑顔で挨拶をしていますか | 16 | 4 | 1 | 0 |
| 2 | どの保護者に対しても、平等に対応していますか | 16 | 4 | 1 | 0 |
| 3 | 守秘義務を守っていますか | 19 | 1 | 0 | 1 |
| 4 | 言葉遣いに気を付け、誠意を持って接していますか | 12 | 9 | 0 | 0 |
| 5 | その日の子どもの姿を、丁寧に伝えるように努めていますか | 5 | 8 | 3 | 5 |
| 6 | 相手の立場になり、話を聞き、気持ちを受け止めていますか | 8 | 11 | 1 | 1 |
| 7 | 親身なアドバイスができていますか | 2 | 7 | 8 | 4 |
| 8 | 園の方針・保育内容・集団での決まり事をきちんと伝えていきますか | 3 | 13 | 1 | 4 |
| 9 | 意見や要求(苦情)を聞こうとする姿勢をとっていますか | 8 | 8 | 2 | 3 |

【評価】

- 勤務態勢によりなかなか保護者と接する機会がない。連絡帳を通して、子ども達の日々の姿や保護者へのアドバイスなどを丁寧に伝える様、心がけている。
- 子どもの様子を保護者に伝え、安心していただける様にしていきたいと思っている。
- 保護者の生活を大切にしながら、子ども達のことをアドバイスしたり、園で出来る様になったことを知らせている。
- 一緒に成長を喜べる様な声掛けをしている。
- 笑顔で挨拶したり、電話対応など丁寧にしている。
- 保護者の意向を尊重した言葉かけに努める様にするが、今の子が置かれた環境の中で言葉をかけ、子どもにとって保護者自信が「あ、そうだね」と思える様な発言を心がけている。
- 保護者に対して親身なアドバイスが出来ず、共感して終わってしまうことがある。自分で考えたり、先輩方に相談しながら良いアドバイスが出来る様にしたい。
- 降園時保護者同士がおしゃべりをしているので、子ども達が気になる。

《子どもに対して》

A…できている B…大体できている C…まだ努力が必要

| | | A | B | C | 無 |
|---|--------------------------|----|----|----|---|
| 1 | 登降園時、元気な挨拶をしていますか | 16 | 5 | 0 | 0 |
| 2 | すべての子どもを褒めていますか | 8 | 10 | 3 | 0 |
| 3 | 子ども一人ひとりに、穏やかに話をしていますか | 6 | 15 | 0 | 0 |
| 4 | 真剣に向き合い、良い悪いをきちんと教えていますか | 11 | 8 | 1 | 1 |
| 5 | その子に合った適切な援助をしていますか | 8 | 8 | 3 | 2 |
| 6 | 子どもの目の高さになり、子どもと関わっていますか | 6 | 14 | 1 | 0 |
| 7 | 正しい言葉遣いをしていますか | 4 | 14 | 3 | 0 |
| 8 | 子ども達を呼び捨てにしていませんか | 5 | 4 | 12 | 0 |

【評価】

- 常に子どもの立場になって心に寄り添うことが大切だと思う。子ども達が毎日笑顔で生活することを考えている。
- 一人ひとりに向き合って笑顔で接している。
- まだ出来なくて当たり前という思いの中で、少しでも身につくように援助している。
- 日々の繰り返しの大切さを実感している。
- 子ども達一人ひとり違う分、どのように関わっていけば良いか分からないことがある。
- 時間に余裕がない時には、子ども達の言葉に耳を傾けられないことがある。ゆとりを持って保育に当たりたい。
- 子どもの目の高さで話をし、良いことや出来たことをたくさん褒めるようにしている。又、悪いことはどうしていけないのか伝えている。
- 挨拶をする時は、「〇〇君、〇〇ちゃんおはよう」と名前を付けることを意識している。名前を言うことで挨拶をしてくれる様になった。
- 子どもに対して呼び捨てや言葉遣いに気をつけたい。
- 何か困っている様子の子はいないか、常に観るように心がけている。
- 子どものペースを大切に、寄り添って援助していきたい。個性を認めながら対応を考えている。
- マイナスを減らす声かけをし、良いところをたくさん見つけていきたい。
- よくお手伝いが出来ているが、乱暴な言葉が気になる。

《安全に対して》

A…できている B…大体できている C…まだ努力が必要

| | | A | B | C | 無 |
|---|---|----|----|---|---|
| 1 | 誰がどこでどのように遊んでいるかを把握していますか | 2 | 13 | 3 | 3 |
| 2 | 人数のチェックを定期的に行っていますか | 6 | 11 | 2 | 2 |
| 3 | 子ども達の動線を予測した保育の位置になっていますか | 5 | 11 | 2 | 3 |
| 4 | 保育者の補助を必要とする固定遊具には保育者が付き添っていますか | 10 | 8 | 0 | 3 |
| 5 | 子ども達に遊具の安全な使い方を知らせたり、遊びの中で気付いたり、判断できるような働きかけをしていますか | 9 | 9 | 0 | 3 |
| 6 | ひもの付いた服装やカバンを掛けたまま、すべり台で遊ばないように指導していますか | 12 | 5 | 0 | 4 |
| 7 | 使用中の鉄棒に近づくと危険な事を教えていますか | 9 | 8 | 0 | 4 |
| 8 | 子ども一人ひとりの心情、興味や関心、能力に応じた指導が行われていますか | 1 | 13 | 4 | 3 |

【評価】

● 未満児

- ・ 怪我に繋がらない様に、子どもの動きを予測しながら見守っている。
- ・ 戸外遊びでは、人数を確認しながら目を配っている。
- ・ 動きが活発になって危険なことが増えていくので、誰がどこで何をしているのかを把握するようにしている。
- ・ 危ないことをしている時は、その都度声をかけている。
- ・ 安全対策は、日々気をつけている。子どもの動きの突発的な所も頭に置き、危険回避できるようにしている。

● 以上児

- ・ 常に安全を心がけ、怪我に繋がらない様に目を配っている。
- ・ 危険な遊び方に対し、子ども達が自ら気づけるような声掛けをし、十分注意したい。
- ・ 安全に注意が必要な時は、声かけをしている。視野が狭いので危険も多い。園外での安全についても知らせたい。
- ・ 戸外遊び中は、自分のクラスだけでなく、他のクラスの子の様子にも目を配っている。年長児に対しては、自分で危険なことが予測できるように指導している。
- ・ 以上児は行動範囲が広いので、全員を把握するのが難しい。人数の確認を行い、全員で楽しめる遊びも取り入れたい。
- ・ 異年齢で集まるときは、子ども達の関わり方を確認しながら怪我に注意している。